

日本指圧専門学校同窓会



# 会報

第14号

発行年月日 平成7年3月31日  
 発行人 会長 石垣 惟一  
 編集者 藤井 正弘  
 日本指圧専門学校同窓会  
 東京都文京区小石川2-15-6  
 〒112 TEL. 03-3813-7354  
 題字 山内貞四郎



ご挨拶

同窓会会長  
石垣 惟一

## 「人生五十年」

織田信長が永禄3年(一五六〇)今川義元を討ちとり、天下制圧への街道をひた走る。

この戦後22年、天正13年(一五八二)「本能寺の変」で野望達成の目前、信長は死ぬ、49年であった。

当時では、それ以後も「人生五十年」は願望に近く、当時の平均寿命は30年位と思われる。

病氣、天災、栄養不良等、無防備時代には、たまく運の強い者のみが生き残ったであろう。

明治維新の頃からは30年を越えたと推定され、その後少しずつ延び、大正年間にはようやく40年、昭和初期に45年位、更に第二次大戦前は男46年、女49年と50年に近く。私の若い頃「人生五十年」とよく言われていた。

統計によれば、日本人の平均寿命が50年を越えたのは昭和22年!!男50・06、女53・96、その後40年間に人類史上例のない程の勢いで「生」を延ばし、今や「人生七十年古来稀なり」は過去のものとなった。

この延寿の延は、各年齢層の死亡率によってのみ決定される。

結核等の伝染病、その他各種の疫病が医療技術の発

展、新薬の登場で大幅に減り、一方栄養がよくなり、生活水準の向上も大きな原因である。

この調子でいくと、「人生百年」も夢ではないのか、然し人間の体は衰える。全ての病気が無くなり、事故死が無くても平均寿命は男81、女82歳、国立公衆衛生院が発表したこともあった。人間は生老病死である。

平成5年簡易生命表によれば平均寿命は男76・25、女82・51となり、10万人の出生中、65年に於ける生存可能の割合は、男83%、女92%、80年では男48%、女70%とか、この割合は増加の傾向にある。

扱って、寿命に「ブレイキ」をかける要素はある。公害、事故等、空気も水も汚れ、交通事故は、増す一方、これを防ぐ方法が無い限り寿命の繁栄は間もなく終となるかもしれない。

最後に「人生八十年」元気に生きる個人の生活の教訓として

- 1、少肉多菜
- 2、少塩多酢
- 3、少糖多果
- 4、少食多嚼
- 5、少衣多浴
- 6、少車多歩
- 7、少煩多眠
- 8、少怒多笑
- 9、少言多行
- 10、少欲多施

(江戸中期俳人、横井也有)

# 日本指圧専門学校

## 同窓会通常総会

日本指圧専門学校の平成6年度通常総会、講演、懇親会が六月十二日(日)茗溪会館で開催された。出席者は準会員(在校生)を含め、百二十余名。定刻十二時三十分、司会は新運営委員第三十期中村秀治氏、本年は名誉会長浪越徹先生、前会長山内貞四郎先生のご逝去、同窓生生物故者二十四名の氏名が厳かに読み上げられ一分間の黙祷が捧げられたのち、第一部総会が開催された。

開会の辞 小林秋朝副会長・副幹事長(17期) 君が代斉唱後、石垣惟一会長(6期)の挨拶、次いで浪越学園理事長浪越徳治郎からご挨拶を頂戴、田村鉦二先生から来賓代表のご祝辞、つづいて議長団

選出、司会者一任の声で斎藤嘉子(6期)、小林彦太郎(15期)、佐藤玄祥(19期)の三氏が選出された。議長団席に着席後簡単に自己紹介があり議事に入った。

① 平成5年度事業報告 藤井正弘幹事長(8期)  
 ② 同会計決算報告 青木宏会計(19期)  
 ③ 同監査報告 小川清(25期) 山田滋監査(24期)  
 ④ 平成6年度事業計画案 藤井正弘幹事長  
 ⑤ 同予算案 青木宏会計が全員拍手で承認採決された。

閉会の辞 池田知以子副会長(32期)で総会は無事終了した。記念講演は午後一時二十分から、日本指圧専門学校講師、小宮進先生の「中国一番の人」の講演が行われた。(講演内容は会報2頁に掲載されていますので熟読されたい。



さて第二部、懇親会は午後二時三十分から、川原善治郎(27期) 田中盛夫(32期) 坂東茂雄(34期) 塩野泰利(34期) 四氏の司会で開会、乾杯は佐藤岩治郎(6期)先生の音頭で宴に入った。今年には徹先生、山内先生の喪に服する意味で皆さんはひかえめに時を過し、最後に校歌「指圧賛歌」を全員で合唱し定刻四時閉会となりました。

同窓のみなさん、お元気で

### 同窓会講演要旨

## 「中国一番の人」

## 中国史上至高の人—孔子



日本指圧専門学校 講師 小宮進先生

中国史上ナンバー・ワンの人と申しますと、それぞれの分野でどれかと考えられますが、今日は学者のナンバー・ワン孔子について述べさせていただきます。

東京湯島の聖堂には明の朱隣水が携えてきたと伝えられる孔子のプロンズ像があります。がっしりした体つきと、心を見通すような眼と高い頬骨が印象に残ります。「威あって猛からず」と評され、勇士の息子を「して並外れた巨人と紹介された彼の容貌をよくとらえていると思います。」

『史記』の著者、司馬遷(前211前1世紀)は孔子を諸侯(地方大名)なみにあつかう程の大ファンで「周室すでに衰え諸侯行いを恣にする。仲尼(孔子)の字、礼廢れ、樂崩れしを悼み、経術を追修し、以って王道に達し、乱世を匡して、之を正に反し、その文辞に見わし、天下のために儀法を制し、六芸の統紀を後世垂る。」と綴って「孔子世家」をまとめた理由を述べています。それに加え「仲尼弟子列伝」と「儒林列伝」の項目も用意したくらいでしたから、孔子への思いはただごとではないのです。

司馬遷は匈奴の捕虜になった友人を弁護して、主君の武帝の逆鱗に触れ、宮刑—去勢される刑、死刑と同格の重刑—に処せられ、憤然として頑り、『史記』をまとめて中国史上随一の歴史家に大成した。いわば男を失って男となった英才です。この英才が一番尊敬したのが孔子ですから、このことだけでもなみ優れた人物として取りあげても良い人物と思います。

孔子が活躍していたのは今から二五〇〇年前程のことです。当時の中国は周の封建制が乱れて地方諸侯がそれぞれ独立して覇権を争い孔子が生まれた魯は山東の大国齊の攻撃にいつも脅かされておりました。孔子の父親はこの齋との戦いで戦功をおげたのです。孔子も武將になるには文句ない血筋だし、立派な体だったのですが、彼は学問を身につけて官僚界には入りませんでした。二十才のとき金庫係となり穀物の集積を担当しました。

『史記』では「科量平らかない」と書かれており、量目が正確だった公平だったということですか

中国史上ナンバー・ワンの人と申しますと、それぞれの分野でどれかと考えられますが、今日は学者のナンバー・ワン孔子について述べさせていただきます。

東京湯島の聖堂には明の朱隣水が携えてきたと伝えられる孔子のプロンズ像があります。がっしりした体つきと、心を見通すような眼と高い頬骨が印象に残ります。「威あって猛からず」と評され、勇士の息子を「して並外れた巨人と紹介された彼の容貌をよくとらえていると思います。」

『史記』の著者、司馬遷(前211前1世紀)は孔子を諸侯(地方大名)なみにあつかう程の大ファンで「周室すでに衰え諸侯行いを恣にする。仲尼(孔子)の字、礼廢れ、樂崩れしを悼み、経術を追修し、以って王道に達し、乱世を匡して、之を正に反し、その文辞に見わし、天下のために儀法を制し、六芸の統紀を後世垂る。」と綴って「孔子世家」をまとめた理由を述べています。それに加え「仲尼弟子列伝」と「儒林列伝」の項目も用意したくらいでしたから、孔子への思いはただごとではないのです。

司馬遷は匈奴の捕虜になった友人を弁護して、主君の武帝の逆鱗に触れ、宮刑—去勢される刑、死刑と同格の重刑—に処せられ、憤然として頑り、『史記』をまとめて中国史上随一の歴史家に大成した。いわば男を失って男となった英才です。この英才が一番尊敬したのが孔子ですから、このことだけでもなみ優れた人物として取りあげても良い人物と思います。

孔子が活躍していたのは今から二五〇〇年前程のことです。当時の中国は周の封建制が乱れて地方諸侯がそれぞれ独立して覇権を争い孔子が生まれた魯は山東の大国齊の攻撃にいつも脅かされておりました。孔子の父親はこの齋との戦いで戦功をおげたのです。孔子も武將になるには文句ない血筋だし、立派な体だったのですが、彼は学問を身につけて官僚界には入りませんでした。二十才のとき金庫係となり穀物の集積を担当しました。

『史記』では「科量平らかない」と書かれており、量目が正確だった公平だったということですか



ら、本当は相当の固ぶつだったようです。言いかえれば、誠実で嘘のない人だったのです。次に牧畜係となったのですが、「史記」で「畜蕃息す」家畜が繁殖し一ぱいになった、と褒めています。彼の仕事への熱中ぶりがかがわれます。孔子が三十六才のとき、魯の昭公が齊に亡命する事件があり、主君に忠実な孔子も齊に赴きました。彼の

の外遊の始まりで、以後七年間四十三才になって魯に戻るまで、外遊を重ねて、学問、思想を深めました。彼を登用しようとした魯の権勢家の招きには慎重でしたが、魯の中都の行政官として復職したが五十二才の時です。翌年、魯の大臣に抜擢され、齊に赴いて魯の国権の保全を保つ外交に成功、その翌年には大司寇―司法長官と警視總監

を兼任したような最高官僚に昇格しました。しかし権勢家の追放に失敗、彼の方が魯から逃げ出さなければならなくなったのです。五十六才での旅だちだったのですから辛かった筈です。以来十三年、隣接の衛、陳などを巡り政策を売り込みましたが、この国にもうつけいられない悲しい旅の連続でした。

孔子は魯国の君主の先祖である周公旦を理想的な人物と定め、周公旦が決めた「礼」をもとに、親子、兄弟の情、孝悌に結ばれた人間関係の心を身につけさせることが平和な生活を導き出すことと考えました。血統の秩序よりも富国強兵策を求めていた諸国の君主からみれば、何とも気の長い話だったので彼の考えが採用されなかったのは当たり前前のことでした。

不屈な精神力をもった六十九才の孔子は時代の要請が彼を政治家にさせないことを悟ると学問を追求する教育者に転身しました。十三年間の諸国巡りに従ってきた大ぜいの弟子を育てることと、史書『春秋』をまとめることに情熱を注ぎました。孔子は前七四三年七十四(七十二)才の生涯を魯都曲阜郊外で終えました。

七二名の高弟を筆頭に三、〇〇人の門弟がいたということです。ですから評判の教育者だったと思います。しかし後継者と期待していた顔回、愛弟子子路それに妻子にも先立たれて、失意のそで迎えた臨終だった筈です。

こんな中でも葬儀を自分の先祖である殷人の流儀でやるように言い残しておられます。志を得ないままに耐え忍んだ生涯でしたが、学問や礼にこだわる執念と情熱に尋常な人間にはない迫力を感じます。

孔子の思想は門弟たちがまとめた『論語』を五十ほど紹介いたしました。中で、私が一番教えられているのは「これを知る者は、これを好む者に如かず」という言葉です。知る、好む、楽しむという深さの段階を見事に説明している訳ですが、私はこれをいろいろ他の言葉に代えてみるのです。学問でも仕事でも芸術でも技術でも何んでも当てはまります。例えば、指圧を知り、指圧を好み、指圧を楽しむ、という具合です。孔子の深い教えは私たちにもわかりやすく語ってくれておられます。まさに時代もところも越えた大教育者ではありませんか。

故徹校長先生は昨年五月十日朝、ご自宅で倒れられ、直に入院あらゆる手当てをされたにも拘わらず五月二十日午後二時、意識の回復を待たずに63才の若さで急逝されました。まことに残念の極で申上げる言葉も出ない日々でした。早くも一年が来ます。

先生は天国で相不変、指圧の普及、研究などに専念されておられるのでしょうか。

願えば私は30年の永きにわたっておりませう。

後楽の中通へ、神楽坂へと夕方から足を運んだことなど、ありし日の先生を偲びつつ、今は亡き先生のご冥福をお祈りしております。

### 故徹先生を偲び

日本指圧専門学校

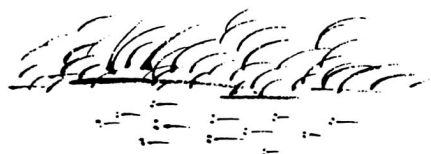
同窓会会長 石垣 惟一

日本指圧専門学校 教務 藤井 正弘

徹校長先生が「脳動脈瘤」で急逝されてから早一年が経過いたしました。今更ながら先生の偉大さには、驚きの意を表し、回想にふけて居ります。

私が徹先生に初めてお目にかかったのは昭和三十九年三月、日本が高度成長に向かったの真っ只中、東海道新幹線が開通、東京オリンピック開催の年でした。私はこの時代に、日本指圧学校に入学したのです。この時代は未だ指圧が世界はもちろん日

本でもあまり知られてはいませんでした。私は上京し、寮生として、校長先生(徳治郎先生)の内弟子となったのです。四月から授業が開始、徹先生は英語の科目を担当され、それは全学生にとって非常に人気がありました。寮生活も家族的雰囲気の中、満都子先生が作ってくれる食事で寮生活を過ごしたものです。昭和四十二年十一月、浪越指圧の渋谷センターのオープンに際しては、徹先生を筆頭に、





私を含め5人で奔走したものです。色々な面で協力し合いました。昭和四十三年には、徳治郎先生が、当時のTV局NETに出演され、それが指圧を全国に広げる一つの掛け橋になったのです。徹先生は日ごろから、指圧は、地味な職業だからあせる事なくけんきよに務めて行けば良いとおっしゃって居りました。それから数年後、私にとって思いもかけなかった朗報が入ってきました。昭和五十一年六月、フランスでセミナーが開催されるので一緒に同行してくれないか？ 私は二つ返事で承諾しました。「エディプソス」という健康器具を販売している会社の招へいだったのです。お互いに若かった我々三人（徹先生、小林秋朝先生、私）でした。私は海外旅行は今回が初めてでした。北回りアンカレッジ経由でパリのドゴール空港へ到着、パリから迎えの車でディナールへ、途中小さな村々を通過、映画のシーンで良く見る教会、田園風景、私は夢じゃないかと目を疑ったものです。この現実をはだで感じ、これも徹先生のおかげと感謝を深く胸に刻んだものでした。



第一回国際大会、徹校長先生、パロンビニーさんと私



先生の剣舞

先生を囲んで



生は弟の様に可愛がって下さいました。又、私の家族を親戚同様いや以上に思って頂き、サンフランシスコ、香港と一緒に旅行、又娘の結婚式には、御出席願ひ、御祝辞迄頂きました。家族一同光栄に思っています。私は先生からいろいろの事を学びました。

先生/来世という世界があるならば……先生のお母さんに心ゆくまで「指圧」をして上げて下さい。又パロンビニーさんも「指圧談義」に花を咲かせ、お好きなサッポロの黒ラベルを存分にお飲み下さい。そして私達「指圧」に志す者達を見守って下さい。私も先生の「指圧に徹する」をモットーにし、日本指圧専門学校に参ります。その意志を伝えて参ります。

最後に二枚の記念の写真を掲載し、三十年の思い出の一頁とさせていただきます。

### 初代会長 踊りの師匠としての川上春治先生の思い出

昨年前会長山内卓四郎先生、母校校長浪越徹先生の相次ぐ悲報に接し、今度は川上春治先生が、平成六年八月八日（月）心筋梗塞で亡くなられた訃報に接し、只々感泣に堪えられません。先生は九十五才の人生を、それこそ有意義に過ごされたことと思えます。

昨夏八月八日九十六才にて眠るが如く永眠された先生は、私達日本指圧専門学校初代同窓会会長として指圧道と礼儀の正しさを指導して頂きました大先輩でありました。指圧協会「五禽の会」の踊りの師匠として、西川流名取りとして踊りは礼儀に始まり礼儀に終ると常に申されて踊りは健康を目的として、腰、足、手、指先と共に目の動き、目線については「にらみ」「流し目」「廻し目」等目線の動かし方について注意され、特に目の動作によりその踊りが「死ぬか」「生きるか」の別れ道となると常に注意されました。八年前の伊豆大島の大噴火災害を受けて、一万二千人の島民が東京都内に避難された朝、浪越徳治郎会長と共に慰問され、特に新宿区山本区長の御好意により新宿スポーツセンターに、仮設舞台を設営し、五禽の会一同は、花笠音頭を踊り、高田嘉兵衛を

豪快に踊り、大島の人々に慰問と交流を深めました。指圧師としての奉仕と活躍は各新聞にて報道され大好評を博し、日本赤十字社より感謝状を頂きました。川上春治先生は踊りの目線、視力については特に注意され、『八点健操、眼睛指圧は良く実行されて居り、九十六才まで老眼鏡をかけずに新聞を読まれてました。私も八十三才未だ老眼鏡をかけず……元氣旺盛!!』

川上春治先生の墓地は千葉県鴨川町の丘の上在り、太平洋の荒海のしぶきを受け乍ら静かに九十六才の生涯を思い出して居ることでしょう。

御冥福を祈り合掌

五禽の会 太極拳指導  
十一期 川上金治



日本指圧  
専門学校  
同窓会平成六年度決算報告書

自平成6年4月1日  
至平成7年3月31日

# 決算付記

## 収入の部

科目	内 訳	六年度予算	六年度決算
会費	終身会費	1,380,000	1,370,000
事業	総会懇親会費	800,000	716,000
雑収入	預金利息	20,000	11,707
	その他	50,000	134,000
	計	70,000	145,707
	前年度より繰越	2,203,701	2,203,701
	収入合計	4,453,701	4,435,408

## 支出の部

科目	内 訳	六年度予算	六年度決算
会議費	総会費	1,200,000	1,200,349
	役員会費	30,000	3,390
	計	1,230,000	1,203,739
事業費	会報発行費	1,250,000	964,360
本部費	通信費	110,000	70,158
	印刷費	30,000	6,000
	渉外費	170,000	206,000
	交通費	150,000	66,560
	慶弔費	50,000	55,450
	事務用品費	30,000	82
	雑費	20,000	0
	計	560,000	404,250
	予備費	200,000	100,000
	支出合計	3,240,000	2,672,349
	次年度繰越	1,213,701	1,763,059
	支出総計	4,453,701	4,435,408

### 収入の部

○終身会費 (一人当一万円)

38期生 A組 三四名分

B組 三三名分

C組 三三名分

D組 三七名分

計一三七名分

○総会懇親会費

八千円×八〇名

### 支出の部

○総会ご祝儀

七名の先生から

七六、〇〇〇円

○その他

三五期生から寄付金

一〇万円

### 支出の部

○会報二三号印刷費

四八五、〇〇〇円

同 宛名ワープロ印刷代

四一、二八〇円

同 発送料

三六四、九五〇円

○渉外費

故浪越徹前校長

香典、生花

### 支出の部

○慶弔費

故川上春治元同窓会長

香典、生花三五、〇〇〇円

○予備費

阪神大震災義援金 一〇万円

○次年度繰り越し内訳

貸付信託 一、七二〇、三七〇円

郵便貯金

四一、六八九円

### 特別会計

平成六年度協賛金

三三三、五〇〇円

累計 二、四七七、五二〇円

平成七年三月三十一日

会計委員 青木 宏

## ●ゴルフ同好会

年二回春夏「徳治郎杯」ゴルフ大会を開催。シングルプレーヤーも居り年々レベルアップ。ナイスボールもあれば、トラブルショットの珍プレー、ファインプレーの続出！ 愉快なゴルフを通じて旧交を温めています。

日本指圧専門学校内 芦原 滋

## ●釣天狗同好会

私はつりが好きで良く出かけます。つりでも海づりが特に好きです。海は大きいので豪快でダイナミックでストレスの解消と健康の維持にはもってこいです。男性女性に限らず連絡お待ちしています。

連絡先 教務 藤井正弘  
電話 〇三―三八―三三―七三三五四



## 同好会だより

# 同期会だより

## 二十四期 山田 滋



六月五日午前八時四十分集合

「げこん丸号」は浅草から武蔵の田園風景を縫ってひた走る、往きの車中……同窓会と言う事で渡辺幹事差し入れの酒、ビールとおつまみが一時間四十分をアツと言う間の終点にして呉れた。日光駅では比留間号で駆けつけた長野の篠原夫妻と新幹線「のぞみ」で愛息同伴の髭の修とも合流。二十三名のメンバーが揃った。

### 「あらたうと 青葉若葉の日の光」

徳川家康公を祭る東照宮は表門から唐門、拜殿、本殿はスピーカーでの説明で、眠り猫から奥の院、復元された薬師堂の鳴鐘は拍子木の音を微妙に震わせる。いろは坂の登りの新道はカーブが大きく快調だが旧道は相変わらずのうんざり坂だ。毛野川と小貝川を合わせて衣川と言われた川は利根川の支流、紅葉と新緑の溪谷美で知られる宿は「あさやホテル溪風館」で六階が玄

関で十三階が最上階、当然一階が川面に近い所である。

五時から七時迄を追悼と研修で急逝された徹校長先生と同窓の稗田、中林の二人に冥福を祈り黙祷を捧げた。その後かつて国試対策委員関氏は「腰痛の力学的考察と注意点」、北陸の博士の雄……西氏は「波動による病理診断コスミックパワー」の夫々研究発表は腰部負荷対策と真の健康と心の活力を与えてあげるための研究で我々が即応用できるものとして共に貴重なものであった。

午後七時からは「霧雨の間」が活気付く、写真のいっかい男性軍十四人、自称奇麗どころ八人、親に似ず可愛さ真々盛りりの渡辺寛幸君の二十三名、唄い出したら止まらない、祝い酒、祝いで、君恋し、川の流れのように、舟歌、異国の丘、富士山、命くれない、恋挽歌、ささんかの宿、兄弟舟、二人の愛ランド、板合式特許童謡取りその他踊りとダンスが続いた。中でも病気がながら参加してくれた有原五月ちゃん村井ナレターとの「人生いろいろ」は次第に盛り上がり人生経験そのもので共感の拍手で館内を揺るがした。このホテルは渡辺定文幹事の患者さんの紹介と言う事もあってホテルからビール、酒の差し入れもあってついつい度を越してしまいました。翌朝サンライズホールでの朝食は此の三月出版された松岡清治「サラリーマンと呼ばれてうれいのか？」の中の松本の我等

が同志上島正人氏の波乱の試験を乗り越えた「赤ひげ先生苦闘の半生」は浅岡さんの朗読でこの人の過去を克明に知らされ又一人隠れた宝を発見した。

日光江戸村座の国定忠治、大笑い欽ちゃん劇場、忍者からす屋敷、南町奉行所での名裁き、片や古き良き時代が甦るウェスタンを堪能して遠き人は早く、近い人は遅くと夫々来年の北海道の旅に期待し帰途についての旅。

この旅とは別に十二月八日誌

## 指成会懇親会開催

### 三十一期 神山安夫

平成6年9月25日午後3時より文京区湯島のリトル香港に於いて指成会(31期・A組66名、B組56名で構成)の第3回懇親会が行われました。会員の出席はA組13名・B組14名でした。

当日は、お招き申し上げた理事長兼校長の浪越徳治郎先生、副校長の石垣惟一先生・浪越満都子先生をはじめ藤井正弘先生・小林秋朝先生・藤田和子先生を囲んで、懐かしさとともに心温まるひとときを過ごすことが出来ました。

懇親会は西井一志さんの司会で進行し、冒頭、山下茂幸会長が出席して下さった先生方への謝意と、懇親会の開催経緯を含めた挨拶を行いました。次いで、浪越徳治郎先生からは、「徹先

年会は横浜ランドマークタワー地上七十階に世界再高速(分速七五〇米)エレベーターで四十分で到着ダイナミックな眺望フロアは実に壮観だったし地球は丸い事まで教えてくれた。

午後二時からの中華街「華正樓」の宴会は十八名の善男善女が今年一年の諸々の出来事から反省と来る年への希望と努力とを誓い企画してくれた大田博久氏に感謝し、土産の焼売を持って又ネ又ネと家路についた。

生が急逝したが、私を中心に先生方がそれぞれ協力し合い、学校の運営に当たっているのが万全であり、今後共、引き続き協力を宜しく願いたい。」との趣旨のご挨拶と共に「私は、百才を目指して元気で頑張っています。」と意気軒昂たるお姿に會員で盛大な拍手を送りました。次に、去る5月20日に急逝された浪越徹先生と、平成5年11月22日に逝去されたB組の川崎龍徳さんのご冥福を祈って黙祷を捧げました。乾杯の音頭は石垣先生の82才になられたとも思えぬ元気なお声で、参加した会員一同を力強く励ましてくれておりました。懇談に入り、談笑の輪が広がるなか、満都子先生を初め、諸先

## 阪神大震災に 義援金

この度の阪神大震災の被災者救援のため日本指圧専門学校同窓会、教職員、校友会等から左記の通り義援金が寄せられ、2月1日、日本赤十字社を訪ねお渡しいたしました。

- 日本指圧専門学校同窓会
- 日本指圧専門学校1年校友会、同2年校友会、同3年校友会、日本指圧専門学校
- 七万円也
- 日本指圧専門学校教職員親睦会
- 参万円也
- 浪越指圧本部センター

# 第八回平成五年度 四期の会

## 根岸とき枝

山と山の間に出でし三日月は  
光ほのかに雲を縫い行く  
七月十日一泊二日にて湯河原  
温泉遠州旅館に於いて一行十名

東京駅十一時集合一路湯河原に  
タクシー二台にて真鶴半島の気  
も遠くなる四十万年前富士山が  
爆発して熔岩が流れて出来たと  
言う三ツ石海岸の景色を堪能し

次に中川一政美術館に油彩、岩  
彩、書等数多くの作品を鑑賞、  
サポテンランドで大小様々なサ  
ボテンに目を見張り二時間の約

東のタクシーで宿へと着き野天  
風呂にて汗を流し、恩師浪越徳  
治郎先生同席の思いで青森から  
オミヤゲ持参の古跡様の開会の  
言葉、瓦様の乾杯で名司会者石



4期の会のメンバー

原様の進行で宴も進み初めて石  
原夫人が参加して下さりカラオ  
ケにダンスに暖かい友情と親し  
さの信頼を合言葉の四期の会青  
葉の香り立ちこめる、いで湯に  
夜の更け行くのも忘れ語り合  
翌朝は来ノ宮神社の二千年の大  
楠の大木を一周すると無病息災  
で一年を過ごす事が出来ると言  
う皆で一泊して第九回は平成七

## ひふみ会親睦旅行記

### 三期 青木雅美

年六月下旬富山県での二泊三日  
を元気で皆様にお目にかかれま  
す事を祈ります。石原様にはカ  
メラマン写真送りすべておまか  
せし本当にお手数を掛けます。  
四期の会の連絡先を石原様宅と  
し電話番号〇三三三九九八八一  
一三〇です。  
世話人 石原博司 貝塚小夜  
瓦 和夫 木村久子

「この旅行会、私も大変楽し  
みにしていました。私に用事が  
出来まして残念ながらお共出来  
ませんが皆さんで思い出に残る  
楽しい旅をして来て下さい。行っ  
てらっしゃい」と、浪越徳治郎  
先生の御挨拶とお見送りを頂き、  
学校前を参加者二十五名を乗せ  
たマイクロボスが難踏の目白通  
りを目的の地新潟県に向けて出発  
したのは平成六年の秋十月五日  
午前九時でした。

この会は十余年前に、一、二、  
三期生の有志が年一回徳治郎先  
生をお呼びして気の置けない楽  
しい旅行を……と、共に故人に  
なられた吉田克広、川上春治先  
生の御世話で伊豆長岡温泉に一  
泊旅行に行ったのが始まりで、  
ひふみ会は勿論先生の命名。当  
番を順送りに数年前から四、五  
期生の一部の人々も加わり今回  
の当番は三期である。特に今年  
は徹校長先生が急逝、心痛の先

生をお慰めしようと計画された  
のに先生の不参加は非常に残念  
な限りである。  
さてバスは時折車窓を打つ小  
雨の閑道道を順調に走り雨上が  
りの小休止の後は車内にジュー  
ス、缶ビールが回り、カラオケ  
バスに早変わり、関東平野に歌声  
をひびかせて北上、前橋での昼  
食は相撲茶屋「江戸沢」チャン  
コ鍋を囲んで、それぞれが先生  
を想う。

廻る遊歩道が目を楽しませてく  
れる。  
群馬、新潟の県境にそびえる  
谷川岳から湧き出る地下水にノ  
ドを潤し世界に誇るわが国、土  
木事業の結晶、四キロを越す関  
越トンネルに入る。黄色の電光  
に輝く構内をバスは快調に……瞬  
く間に通過した新潟の深緑の山々  
は、木々の間に山頂ゴルフ場を  
思わせる緑の帯がゲレンデの広  
さを誇る岩ヶ原、湯沢と続く冬  
のスキー場である。温泉街に入  
り新幹線駅舎を右手に小雨の湯  
沢ランドホテルに到着。  
先生用の貴賓室に年長男性に  
お入り頂き他は各部屋に。風呂  
上がりのさわやかな顔が揃って  
六時からの宴会は、皆勤だった  
先生、春治氏に代って増田氏  
揆、石崎氏乾盃ではじまる。山  
形から車で当地に着いた二期の  
前田氏、三期五期の小松哲太郎  
、豊子夫妻が高級地酒持参で参加  
初参加の中山清氏からの色紙画  
の抽選、踊り、先生顔負けの脳  
性音痴から、プロ素足の歌まで、  
いつもながらの楽しさ。

二次会は幹事の部屋に全員集  
合、指圧談義から実技、酒を汲  
み交すグループと夜の更けるの  
も忘れる。  
バイキングの朝食後ホテル前  
庭で記念写真撮影……快晴の一  
般道を再び北上、JRが駅ホー  
ルから直接ゲレンデへと誘う、  
ガール湯沢、石打と豪雪地帯、  
本来は塩沢、六日町、十日町と  
織物の里だった寒村の寺、葉照  
寺を見学する。樹齢二千年の大  
桂が境内にそびえた小さな寺に  
ミイラから世界的な名画彫刻美  
術品が並ぶ宝物殿、織物等豪農  
豪商家からの寄贈だと言う。  
小出の街から素堀りの十キロ  
近いトンネルに入る。只見ダム  
建設の為のトンネルで大型バス  
はストレッチャーが難しい。その四  
キロ程を残した中間点で道を逃  
れ只見川に沿う奥只見銀山平の  
手打そば屋で今日の昼食、文字  
通りの銀山の麓で昔は土工達が  
遊女を相手に濁酒を含んだと言  
うこの店は古めかしい情緒のあ  
る店だった。裏の只見湖の水位  
は低く数メートルの白い土を見  
せ今年の水不足を目前に見せる。  
山形に帰る三人と別れ一路東  
京へ向かう。練馬で高速道を下  
り三々五々会員と別れ、道路事  
情の発達で越後山中の日本海魚  
市場で求めた海産物を伝通院の  
先生にお届けしたのは夕方の方  
時頃であった。今回の旅では持  
木さんの御力に依る処が多かつ  
た。心から御礼申します。



ひふみ会の面々に4、5期生のみなさんが勢ぞろい



浪越学園  
日本指圧専門学校

# 学園だより

## 箱根旅行を終えて

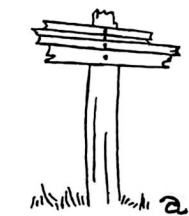
1年B組 比留岡陽子

7月17日の日曜日に1年生の箱根旅行が行われました。お天気に恵まれ、予定より少し遅れましたが、8時10分すぎに学校前を出発しました。

私はA組とB組一部のメンバーで1号車ののりましました。日頃、授業と一緒にうけてるせいか、違うクラスでもなんとなくうけたたけの雰囲気、カラオケなどしているうちに箱根につきましました。

遊覧船に乗る前に記念写真をとったのですが、写真屋さんのお兄さんの「は〜い、とりますよ、ニコニコニコニコニコニコニコ」というかけ声には、思わず笑ってしまいました。

遊覧船で湖を横断した後、山のホテルで昼食をとりました。「三〇〇〇円の昼食」ということを聞いていたので、どんなものか楽しみでした。旅行の予定が早まったことなどがあってホテル側の準備が完全ではなく、嫌な思いをした方もいたよう



ですが、私は運よくトラブルもなく、おいしくいただくことができました。

その後、彫刻の森美術館を見学しました。ここでも、記念写真の時、一見、真面目そうな写真屋さんが「ニコニコニコニコニコニコ」とかけ声をかけたのには驚きました。

帰りは、予想された交通渋滞もなく、予定より一時間半近く早い五時すぎに、学校に戻ることができました。クラスのみんなの協力のおかげで、大きなトラブルもなく無事旅行を終えることができてホッとしています。思ったよりずっと楽しい旅行でした。

## 平成六年度の校外学習

2年D組 大津恵美子

平成六年度の校外学習が行われました。四月二十七日(金)が第一回目。場所は埼玉県の飯能市立老人ホーム西武池袋線で急行電車に乗車四十五分後終点飯能駅に到着。駅から迎えるバスに乗り十五分位で目的地に着。空気の良い畑続きの真中で、良い環境の中で驚きました。日頃東京の中心地を目にしている者にとってはたまには美味しい空気も最高の栄養に感じる次第でした。さて参加者は新二年生を中心に三年生の先輩を含め教務の藤井先生が引率されました。総勢二十名弱の有志の参加でしたが、ウィークデーの実習日なので昼間部の生徒が圧倒的に多かったのです。

ホームの玄関につくと職員の方達の出迎えを受けさらに何名かの老人も見物に出て「アッ指圧の先生だ」と待っていてくれる様子に気も引き締まって来ます。きつと度々参加している先輩達の顔みしりなのでしょう。いよいよ施術が開始されようとする、その日の受療者は、枕、半巾の細長の布団、バスタオル等を用意して広間に横たわって受けるばかりの大勢で待機していました。一時間前後の治療時間……終了後受療者は各自布団類を持って引き上げる。治療終了後テーブルを囲み、

藤井先生を中心に一期生で参加されている持木先生を交えて体験談、その他の意見の交換を行いその日のボランティア活動は終了となります。四時頃またバスで駅まで送って頂き昼間部の生徒はそのまま帰途につきま。夜間部の生徒は大急ぎ学校へと向かいます。出発の集合地池袋駅を午後十二時四十三分より解散の池袋駅十七時はアッという間に過ぎて行きました。学校へ向かう間に色々とその日を振り返ると、それなりに老齢の方達の施術後の健やかな顔が目につかび心も爽やかなり疲れも忘れてしまいました。学校の基本操作をしっかりと身につけることで本当に応用範囲も広く役立つことは身をもって体験出来ました。校外学習は、一回、二回、三回と度重なる毎に自分自身の腕も応用も向上し、病む人の為にも自分自身の為にも最高の宝となると信じます。手技両方を学校のみで学ばれている方は是非一度チャンスをつくって参加されると良いと思います。私も現在まで毎回参加しましたが出来る限りボランティア活動のお手伝いを続けたいと願っています。平成六年八月記

## 第38期箱根修学旅行を終えて

1B旅行委員 三苫絵理子

一学期期末試験も無事終わり、あとは夏休みを待つばかりというほっとした雰囲気の中で、7月17日私達38期生は箱根への日帰り旅行を迎えることとなりました。

連日、東京では猛暑が続いていたため、天候が心配されましたが、標高600m位の箱根では観光船上での、芦の湖面を渡ってくる風もさわやかで、しばし東京での暑さを忘れる思いでした。箱根山のホテルでの昼食後、彫刻の森美術館を見学し、小田原經由にて帰途につきましたが、途中渋滞に巻き込まれず、全員

無事、帰校することができました。私達B組はバスの台数の関係で、2台に分乗という形になりましたが、旅行委員の私として一つ心残りでしたのは、バスで一緒に夜間部の方々と、あまりうちとけた雰囲気を作り出すことができなかったことです。入学してから3ヶ月あまり、知らず知らずのうちにスクールカラーならぬクラスカラーが出来上がり、良い意味でも悪い意味でも連帯感が生まれていたようです。そのためか、ほとんど初対面に近かった夜間部の方々

とお話もせず終わってしまった者も多かったようです。初めてお会いした方に施術することの多い指圧という仕事をしていく上で、初対面の方でも気軽に話ができ、なごやかな雰囲気を作り出せることは、とても大切なことのように思われます。そういう意味で今回の旅行ではとても有意義な経験をさせていただきました。これから秋には、全校生徒での体育祭などもあります。一年同志の横のつながり、そして3年との縦のつながりを深める良い機会でもあります。また2年から参加する青空指圧、病院実習など初対面の方と会うことも多くなります。その中で、人見知りせず相手の方に話しかけ、短い時間でうちとけた雰囲気を作り出すことは、指圧の施術上でも重要なことだと思います。これからの3年間、実技、理論だけでなくこういった精神的、心理的な面での修練も、私達にとって大切な課題の一つだと感じた旅でした。

最後になりましたが、この紙面をお借りして、旅行にご尽力いただきました先生方はじめ関係の方々へ御礼を申し上げます。ありがとうございます。



# 学年旅行報告

## 1年A組 伊藤 要

日本指庄専門学校一年生恒例の日帰り旅行は、今年も他の行事との関係で七月十七日「日曜日」に、暑さをおして行われました。行き先は、例年通り箱根と決定されました。ほぼ定期の午前八時十五分、昼間部A、B、夜間部C、Dの総計百名は三台のバスに分乗して出発しました。皇居北の丸公園の横から首都高速に入り東名高速に入っても休日にもかかわらず交通の流れは順調で、往路における唯一の休憩地点である足柄サービス・エリアには予定より三十分早い九時三十分には早々と到着しました。東京地方はこのところ連日の様に三十度を超す猛暑ですが、現地の当日はくもり模様で富士山の姿こそ見えなかったものの、陽射しが雲に遮られて格好の行楽日和となりました。御殿場で高速を降りて乙女峠のヘアピンカーブからトンネルを越えると仙石原の高原の風景が左右に広がって旅情をかきたててくれました。やがて車は湖尻の棧橋に到着し、クラスごとに記念写真を撮影後、十六世紀の海賊船を模して作られた遊覧船に乗って元箱根まで四十分の船旅を楽しみました。時々モーターボートが行き交う湖上は涼しく肌触りに快く感じられました。箱根町港をへて元箱根で下船した私

たちは、陸路を回送されて来たバスに乗って昼食を取るために「山のホテル」に向かいました。眼下に芦ノ湖を見下ろす広間で一同お待ちかねの懐石料理に舌鼓を打ちました。おなかも満ち足りた私たちは慌ただしく再びバスの客となり三十分後には「彫刻の森美術館」に到着しました。折悪しく美術館は夏のイベント前の準備の時期とあていささか時期を失った感じもありましたが、木陰に掻き氷の紙コップを買って一瞬の涼を求めた本校生の一団の姿も見られました。帰途は往路と違って、宮の下、湯本を経て小田原へと狭い道を下って、かまぼこで有名な鈴鹿の売店に立ち寄って、お土産を買って小休止となりました。さらにバスは筆者には初体験の小田原・厚木道路を経由して東名高速に入り午後五時十五分全員無事に指庄学校に帰着致しました。

今回の日帰りの旅行では不幸にも出発に遅れた人も出ましたが、天候にも恵まれ、交通渋滞に悩まされることも全くありませんでした。また、時間に追われてゆっくり見学出来なかった所も一、二ありましたが、総体的には珍しく順調にバスを利用しての団体旅行を楽しむことが出来たと思います。準備と実施

に当たられた諸先生、旅行委員の方々にあつくお礼申し上げます。一年後の卒業旅行の際には、この経験を生かして、素晴らしい旅行が実現できる様、一層の

# 箱根バス旅行の思い出

## 1年D組 下倉義正

前々から楽しみにしていたバス旅行。入学時に貰った年間計画表から、中間テスト、期末テストを経てずっと先と思っていたのが、時の経つのも早く、中間テスト、も期末テストも終わりその日が到来。クラスの皆さんもとても楽しみにしていたようだ。日頃それぞれ昼間は仕事やバイトを持ち、授業終了後は疲れて一路家路を急ぐ、余分な時間がない生活なので、クラス全員でゆっくり話をしたり、飲食する機会が持てなかったで、この機会を楽しみにしていた。そんな思いで我々Dクラスは大多数参加した。天気にも恵まれ、バスに乗り込む。飲んで大いに語ろう。バスがスタートすると旅行委員さんが冷えた缶ビールを配る。朝のスタート時の乾杯の時をみんなは待っていた。乾杯の音頭……隣の号車はそんな気配はない。乾杯は我が三号車のみ、小林先生、本田先生を後部座席にお呼びし賑やかな時が経過していった。旅行委員さんが、アトラクションを考えてくれた。簡単なゲーム、当日前後の誕生者の祝いを

皆様のご協力をお願い申し上げます。つづ、今回の日帰り旅行のまとめと致したいと思います。色々有り難うございました。



箱根芦ノ湖 海賊船の前で

な者同志でもう一度飲み直し、やがてカラオケも入り、喉、歌に自信のある人は歌いはじめた。さすがが歌い訓れてる人は上手。そんな中旅行も終りを告げようとしている。今日一日バスから下車している時以外は、外の景色を鑑賞していなかったように思う。一日中飲んで話をし、時間が過ぎていった。でも楽しかった。クラスの皆さんも心の中に楽しい思い出を残せたでしょうか。旅行の計画、準備に携わって頂いた学校の先生、校友会旅行対策委員会の方々、そして我がクラスをまとめて下さった旅行委員の方々、本当にありがとうございました。お陰様で楽しい旅行が出来、学校生活の内、大きな思い出として私の胸に深く刻み込まれることでしょう。

# 日本指圧専門学校を

## 見学して

### 群馬県立盲学校有志

平成六年九月二十七日(火)

群馬県立盲学校の教員五名、学生七名が本校を見学のため来校した。満都子先生の実技の時間本校の学生の指圧を体験し、大変感激して帰られた。その感想が紙面で送られてきましたのでご紹介致します。

最初は実技室で生徒同志の実技風景を見学して、十分程度の指圧を受けて貰うのだと思っていたのですが、見学時間の大半を受けさせて頂きました。

漸増漸減の庄の入れ方、抜き方、部位ごとの垂直、持続、集中に基づく庄の方向、力の加減などを参考にさせて頂き、臨床の際に生かさせて頂きたいと思えます。

学校を離れる際に、浪越徳治郎先生の銅像の母指と自分の母指を合わせ、少しでも浪越先生に近づければ幸いと思っております。(T・I 男、弱視)

先日はどうもありがとうございました。浪越徳治郎先生の名のもとに、自信に満ちあふれた指圧を受けることが出来、大変感激致しました。

頸動脈付近から始まったのは、少し驚きました。次第に心地よい指の感触が伝わってきて「指圧」たるそのものが全身を駆け巡るような気持ちになりました。

この体験を通じて、指圧への再確認というよりも、啓発を受けたという思いが致しました。私達もあん摩により一層の努力をしていかねばと玄関の浪越徳治郎先生の偉大なる親指にそっと触れて、決意を新たに約束して参りました。ご親切にしてください、本当にうれしかったです。来年に向けて頑張ります。(T・N 女、弱視)

浪越学園という有名な学校を見学させて頂こうという事で、胸がわくわくして緊張した感がありました。指圧は三人の方にさせて頂きましたが、最初の方はサッカーをしていて腰を痛め指圧を受けた所「これはすごい」と感じて、通い始めたそうです。とても爽やかでソフトな会話、とても好感がもてました。二人目の方の下腿部の指圧は、力、方向とも気持ちよく感じました。三人目の方は上肢のみでしたが、前腕の指圧での心地よい響きが印象的でした。二度と伺えないような所で非常に貴重な体験をさせて頂きました。あん摩と指圧の相違点も改めて実感しました。今後の私自信の施術に役立てて生きたいと思っております。(H・K 女、全盲)

浪越先生の銅像の母指の感じは独特のもので印象的でした。

又全身指圧を受けられと思っていませんでしたので、非常に参考になりました。ただ部位によっては痛い所もありましたが、有意義な体験をさせて頂いたと感謝しております。(Y・H 男、全盲)

学校以外で初めて指圧を受けました。とても良い経験になりました。今後の指圧実技に生かさせて頂きたいと思っております。皆様、どうもありがとうございました。(N・O 男、全盲)

大変お忙しい所、私達の為に指圧をして頂きありがとうございました。わたしもあん摩、マッサージと共に指圧も勉強しておりますが、日本指圧専門学校で生徒さんの手指は、安定して気持ちのいい思いをさせて頂きました。(H・K 男、弱視)

指圧学校の皆様、お忙しい中時間をさいて頂きありがとうございました。指圧を受けさせて頂きましたが、五十分近くも受けるとは思わず、とても喜んで居ります。指圧に対する向かい方、五十分という中で、自信が指から伝わって参りました。「心技体」という浪越学園の伝統を引き継いでおられることを肌で感じられました。本当にありがとうございました。(M・T 男、弱視)

以上平成六年九月二十七日(火)群馬県立盲学校、保健医療科三年生四名、二年生三名の来校時の感想文を掲載致します。

# 『指圧』で心身の調整!

## 第5回大阪国際女子柔道選手権大会

去る1月22日(土)、第5回大阪国際女子柔道選手権(団体戦)が開催されるに当り、講道館より、各国から参加した選手団を対象に、指圧のレクチャー及びデモンストレーションの要請が日本指圧専門学校にありました。

学校からは、浪越満都子副校長、浪越孝先生、藤井正弘先生、小林秋朝先生、小久保和夫先生、治療センターより広松智智先生の6名が出席し、来日された各国選手団に基本指圧を施術して、大好評を博しました。

休憩の後、午後4時から、指圧についての簡単な説明を行い、引き続き各国選手団に指圧のデモンストレーションを行いました。参加国は、アイルランド、ニュージーランド、カナダ、アメリカ、チリ、ガボン、グアテマラ、アルジェリア、フランス、イギリス、ポーランド、キュー

阪神大震災の直後で、交通機関が心配された1月20日(金)、朝

8時30分東京駅発の新幹線にて京都駅まで行き(京都・新大阪間は不通)、京都駅からは在来線に乗り替えて新大阪駅へ、新大阪駅から地下鉄で宿泊先の難波のホテルへ着いたのは午後2時過ぎでした。

試合は、2日後の22日(日)に開催され、キューパチームが圧倒的強さで優勝いたしました。指圧が、柔道選手の心身の調整に大きな力を発揮することが実証され、今後、各国との交流にもつながり、世界平和にも役立つことと信じます。

私達は、更に学問に、又技術の向上を目指して、研鑽の努力を重ねていきたいと考えております。

36期

小久保和夫



参加した指圧学校の先生方(中央が浪越満都子先生)



好評を博した基本指圧の施術





視点

同窓会の発展を希念して

同窓会副会長  
二十一期 片岡弘昌



今年(平成七年)はどんな年になるのだろうか。去年はひどい年でした。人災によるバブル崩壊の後遺症は少しも癒えず、更に近年にはない天変地異が次々に襲ったにも拘らず、肝心の為政者達は憂国無念に狂奔するといってお粗末さ。ついに天の怒り(阪神大震災)は一瞬にして、五千人余の尊い人命を奪い、人工の大都市、神戸の町を廃墟と化してしまつた。天に唾した報いとは言え、何故に奢れるものが免れ弱者が痛みつけられるのか。罹災者に心からご同情とお悔みを申し上げます。

「戊」年は「滅」の地の気が作用して「果実が大地に落ち、次の世代の種子になるものと、そのまま死んでしまうもの」とに選択され、種子となるものは大地に守られる時。そして今年「亥」の年は「核」立の時で、「戌」の土に守られた種子が種核を確立させ、発芽の方向に働く。正に「天門」が開き、万物が行動をおこす大始点なのである。

私達の母校「日本指圧専門学校」は創立五十周年の輝かしい式典を備へ、早や五年。この機会に学校への協力組織としての「同窓会」を見直すのも意義のあることと思います。

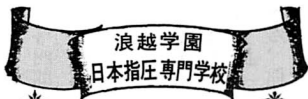
既に四年前の平成三年の運営委員会「会機構の改善案」が提案議決されましたが、翌年一月の役員会(私は欠席)で「時期尚早で現行通り」と決定、四月の運営委員会でも役員会でもそう決めたのならということに一応了承し今日に及んでいます。しかし「時期尚早」であるといえこの間、なんの検討もなされずに来たことは遺憾なことです。私はここに組織活動の改善を再度提言いたします。

先ずせつかく開かれる総会も出席者も二百人程、しかも役員が主で一般会員はごく僅か。そこで改善案として、

- ①会議制をやめ、親睦会合とする。一般会員が参加しやすい。
- ②総会に変わる議決期間として「委員総会」を設置する。
- ③連絡通知や運営の費用と労力が節減できる。

次に同窓会の財源の確保についてです。現在は卒業期学生の終身会費が主で百二十万円の年間財源に依存している。一時期は四百万あった。終身会費のみ依存するのではなく、この際、本会の趣旨に賛同する方を「賛同会員」として協力していただき予算化する。寄付者ではなく賛助会(金は出すが、口は出さない)として位置づける。

以上のことは、同窓会として緊急を要する事柄で、取りあえず出来ることから取りかかる時と思ひます。



学園だより

卒業旅行キ〇〇

36期A組  
清水達之

平成七年三月六日から二泊三日で、私達第三十六期A・B組有志は、満都子先生、孝先生、藤井先生、小林先生、坂本先生の引率で北海道余市にあるキロロリゾートに出掛けました。

卒業式の翌早朝、機長の遅刻で出発が遅れたものの、好天に恵まれ、羽田空港から新千歳空港へ飛び、貸切バスで小樽の風景を楽しみながら、午後一時にキロロリゾート、ホテルピアノに到着。早速私はルームメイト達とグレンデに飛び出しました。三月に入ってから天候も穏やかだそうでパウダースノーの上で存分にスキーを楽しみました。ホテルに戻り、次はスポーツ館「ジグ」に行きブルでひと泳ぎ、サウナ、ジャクジー、寝湯などのある大浴場で国家試験の疲れを癒しました。

夜は、卒業パーティを催して頂き、沢山のご馳走と、ドン、ドン、パッパビンゴなどのゲームで盛り上がり、カラオケで

イクラ弁「カニのうちこ」そして「にぎり寿司」と欲ばり、あと二日、せめてもう一日滞在したいものだ、みんなでなごりを惜しみました。

最後に「ジグ」でくつろぎ、必ず又来ようと約束しあってキロロをあとにしました。

キロロリゾートのすばらしさは行かなければわかりません。『発心、実行』して下さい。必ず『継続』して行きたくなりま

す。楽しく、美味しく、すばらしく快適で、感動的な卒業旅行を企画、お世話して下さいました皆様、引率して下さいました先生方、キロロリゾートの皆様、そして三十六期の仲間達に深く感謝致します。

卒業旅行

36期B組  
渋谷弥生

三月六日(月)は学生生活最後のイベントとなる卒業旅行の日が来りました。

早朝の七時三十分には羽田空港へ、北海道キロロリゾート旅行に胸をふくらませた仲間達が次々と集まって来ました。

飛行機の出発時刻が遅れるというハプニングもありましたが、無事出発して空の上から眺める景色に鳥になった様な気持ちになりました。

新千歳空港に到着して空港から一歩外へ出てみると、そこは普段見たこともない銀世界でした。バスガイドさんがお話を

していましたが、キタキツネはギャオンと鳴くのだぞつです。きつと厳しい寒さでもたくましく生きてるんだらうなあと思いました。

バスに乗り込んで約二時間で待ちに待ったキロロリゾート、ホテル「ピアノ」に到着しました。八階迄吹き抜けのロビーには、グランドピアノの演奏で出迎えてくれました。

ホテルの中では、ゆっくりしている間もなく昼食を取り、希望者による「雪空指圧」をホテル「マウンテン」のセンターホールで行いました。スキーから帰って来る人達に疲れを残さないで下さいと、心をこめた「指圧」は大好評でした。少しでも「指圧」の良さが伝わったと思うと、少々指が痛くなりましたが、とても充実した時間でした。

自由時間になると、私達はホテル内にある トレーニングルームで汗をかき、サウナで今日一日の疲れを癒しました。

夜はホテル主催のパーティがあり、おいしい料理を頂き、楽しいゲームで盛り上がりました。二次会はカラオケルーム貸し切り、先生方、仲間達の歌は、普段では見られない意外な面が見られ楽しい時間を過ごしました。

二日目も見事な晴天に恵まれて、朝食のバイキングを早めに済ませ、グレンデへ足を運びました。雪質は良く(パウダースノー)、はじめての人も一生懸命に挑戦していて上達して行くのを見てると私も負けてい

キロロリゾートゲレンデにて



れないと思いい、色々なコースに挑戦、ゲレンデも広く非常に滑り易い所だと思いました。

夕食は豪華なお寿司屋さんのコースを選択、納得する味に舌鼓を打ち、来て良かったと感じました。

三日目は観光を目的に小樽へ行き、運河の道を歩くと、ガラス細工の店、オルゴール館や、木彫りの店が可愛く立ち並んでいました。三角市場では、毛ガニ、ウニなど新鮮な海の幸が沢山売っていました。

札幌では、有名な時計台で写真を撮り、ラーメン横丁では、行列のお店を見つけて入り、ラーメンを食しますが札幌ラーメンと感じました。

六時に空港に戻り、お土産を買いながら複雑な気持ちになったのを感じました。

羽田空港に到着して先程の気

ホテルマウンテンセンターホールにて



持ちは、これから先仲間達と離れていく淋しさから来たのだとわかったのはこの時でした。二泊三日の北海道キロロリゾートの旅行は短かったけれど心に残る楽しい貴重な三日間でした。

第六期  
三十周年記念会記  
(平成六年五月二十九日)

私達日本指圧専門学校を創立して早や三十年！当時一〇七名でしたが現在は不明者三十六名、名簿上の方六十名となっております。

斉藤喜子会長の御骨折りで、電話などの連絡で当日は二十名の方が出席をされました。

早くお見えになった方達は旧古川庭園の美しいバラの花を観て頂き、旧情を暖めて想い出話に花を添えてひとときを過ぎました。尚庭園は、さつきの垣も見事との事です。

十二時半、山手線駒込駅近くの割烹「啓」にて楽しくも、又賑やかに会は開かれ、最高年齢は佐藤岩次郎さんの八十五歳、蔵本重春、五味雅吉、石垣唯一の三氏も八十二歳……三十年の歳月はやはり長いのだと感じました。清水義嗣さんは、静岡県磐田氏ら、菊地菊一さんは茨城の磯原市から、皆さんご容姿は変わりましたが、話題は色々弾み賑やかな会でした。

曾て話術をまいて知られた永沢与四郎さんは、ご自分がよく分からない状態とか、石井大雄さんも車椅子の生活とか、又昨年十二月九日指友の発行等に活躍された植松敏淑さんが逝去されました。お知らせを頂き、斉藤会長、藤本御夫妻、飯塚しんさん、稲葉で会葬させて頂きま

した。現役で頑張っている居られる筆頭は、五味雅吉さんで、沢山の著者や月刊誌、テレビにも出演されました。まだまだ地味ながら毎日治療の生活をされている方も結構いらっしゃいます。

四〇周年は、如何様になられているでしょうか……。

好天に恵まれ、心弾んだ一時でしたが、又の再開を約して五時過ぎに散会しました。

追伸

水沢さんは、痴呆の状態が進み、老衰と肺炎で、七月に他界致しました。ご葬儀には、佐藤岩次郎、斉藤嘉子、飯塚しん、稲場和子でご会葬させて頂きました。

稲場和子記

課外実習

「青空指圧教室」

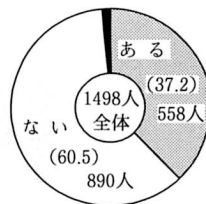
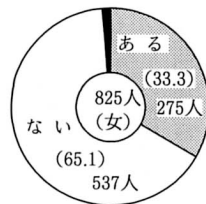
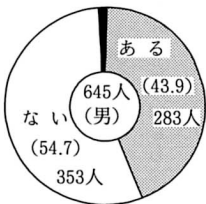
日本指圧専門学校恒例の行事として、又上野公園の年中行事の名物となった「青空指圧教室」も今回で第二十九回を迎えました。

平成六年五月二十九日(日)午前十一時より、噴水池前の広場で、教職員、学生約一〇〇名が参加して挙行された。この日は浪越徳治郎先生も特別参加して頂き、黄金の指で大ハッスル……大好評でした。

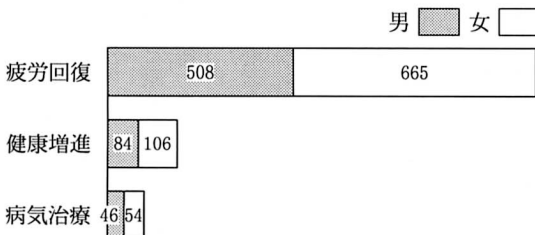
この会場で徹校長先生のお姿がなかったのが残念でしたが、一同校長先生の御意志を継いで一生懸命奉仕の精神で頑張ってくれました。

色々な症状でお困りの方、指圧を受けられた理由、いままで指圧を受けたことのない人達等午後二時終了まで一八〇〇名にアンケートを集計しましたので御報告致します。御参考まで！

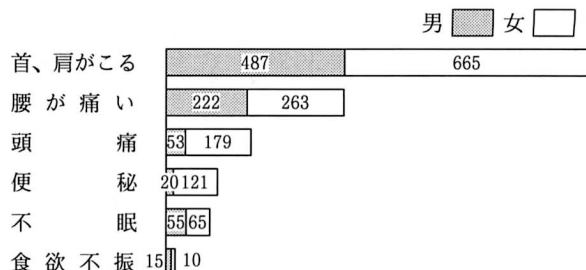
(1) いままで指圧を受けたことがありますか？



(2) 指圧を受けた理由は何ですか？

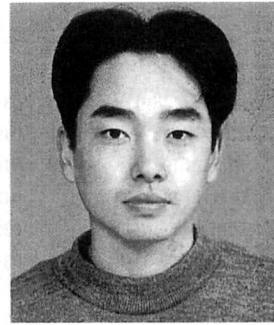


(3) あなたはどんな症状でお困りですか？

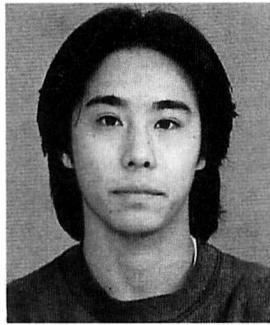


# プロフィール

第36期 小暮直人  
第36期 澤井勇人



第36期 小暮直人



第36期 澤井勇人

この度、カナダのトロントへ若人二人が一年間「指圧留学」することになりました。二人の抱負を掲載致しました。

私は日本指圧専門学校に入学し、指圧のすばらしさを一年、二年、三年と年を追うごとに強く実感することが出来ました。そして私はこの指圧を色々な角度から追求してみたいという気持ちになりました。そんな折斎藤健泉先生が学校にお見えになり、先生はカナダのトロントにおいて「指圧」がどれ

だけ多くの人達に理解されているかを、私達にお話してくださいました。私はその話を聞き、又、先生の人柄に触れ、なんと少しでもカナダで「指圧」の勉強がしたいという気持ちになり、その場で先生に、「カナダで指圧の勉強をさせて下さい」とお願いしました。

そして現実にカナダ行きを真近に控え、本当に信じられない気持ちでいっぱいです。これも孝先生はじめ諸先生達の御協力があったことです。心から感謝いたします。又忘れてはならないのは、今は亡き徹校長先生の御尽力により、カナダをはじめ世界各国に「指圧」の道が開かれ、私もカナダで一年間留学することが出来たということです。

浪越指圧の名をけがさぬようカナダで精一杯頑張つて参ります。

36期卒業生 小暮直人

今年日本指圧専門学校を卒業するに当り、一年間カナダのトロントに留学することになりました。カナダでは現在指圧がどのように広まっているのか？どれくらい必要とされているのか？又東洋の医療として、どうとらえられているのか？そういう事を考えながら勉強して来たいと思っています。そういう環境の中で自分が少しでも日本の「指圧」を広めることに貢献出来たら良いと思いい年頑張りたいと思います。

36期卒業生 澤井勇人

## 協賛金賛助者ご芳名

◇平成六年度賛助金総額

(平成六年五月二十六日)

六月十四日)

一〇〇件 三三三、五〇〇円

◇累計

昭和六十年年度～平成五年度

一、〇七八件

合計一、一七八件

二、四七七、五二〇円

◇平成六年度

協賛金賛助者ご芳名

(敬称略、順不同)

ご芳名掲載をもってご協賛の御礼と領収の証とさせていただきます。○数字は卒業期

◎二万五千円 藤本寛山⑩

◎一万円 高野正之⑩浜野喜美子⑩

島田武一郎⑩山岡祥宏⑩齊藤鶴男⑩

高橋和子⑩

◎五万円 福沢司津江①増田清一①

石原博司④和田恒男⑤柳沢光男⑩山

内澄子⑩笹木喜太郎⑩岡田イト子⑩

久保田紀代子⑩木下誠⑩山口忠治⑩

神田咲枝⑩片岡弘昌⑩西千鶴子⑩本

間富美子⑩高橋福美⑩二階堂静秀⑩

沢田碩亮⑩

◎三万五千元 一色勝義⑩

◎三万円 石崎正臣①山川友枝④赤

沢えい⑧石塚トヨ⑨前川磯文⑨大滝

勝雄⑩伊藤昭子⑩若杉ミイ⑩村野博

幸⑩福島重美⑩舟島正八⑩荒川シズ

◎荒川隆司⑩岩崎磯男⑩大島匡一⑩

◎二万円 松本一雄⑩川上春治①相

沢君江①持木光子①佐藤栄江子②藤田和子③船田弘子⑤石垣惟一⑥佐藤岩次郎⑥齊藤嘉子⑥藤井正弘⑧藤井トシ子⑧嘉義了久⑩山本文子⑩工藤てる⑩嶋崎文三郎⑩細谷節子⑩佐藤肇⑩小沢春枝⑩原田隆弘⑩浪越満都子⑩上野欣二⑩小林秋朝⑩原忠雄⑩佐藤玄祥⑩日野紘造⑩田代和平⑩青木豊⑩佐久間健司⑩伊藤節子⑩藤田

一彦⑩玉川隆⑩山田滋⑩柴崎聖子⑩岡本草苑子⑩近藤くに子⑩菊池輝夫⑩林五郎⑩小松せつ子⑩川原善次郎⑩浪越孝⑩一山阿佐美⑩福安志泰⑩宮田經子⑩辰巳重信⑩山下茂幸⑩西井一志⑩本田泰弘⑩池田知子⑩小久保和夫⑩浪越夕起(職員)◎一万円 石原雪江①鈴木林三⑧三好英子⑨小川久子⑨青柳勇⑨宇田川博隆⑨佐藤文三⑨石神隆三③

※平成六年度の決算報告書は、会報五頁に掲載致しました。

### 日本指圧専門学校 同窓会 平成七年度 通常総会・懇親会

左記により同窓会総会並びに懇親会を開催いたしますのでご出席下さいますようご案内いたします。

日本指圧専門学校同窓会会長 石垣 惟一

記

一、とき 平成七年六月十一日(日)

一、ところ 茗溪会館 (☎〇三・三九四三・〇三二二)

一、内容 総会(二・三〇一・一〇) (地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅歩一分)

記念講演(一・二〇〇・一五〇) 演者 松永喜久先生

懇親会(二・〇〇一・三三〇)

一、会費 八、〇〇〇円(当日も可)

一、申込 同封の郵便払込用紙で会費を前納して頂きますと受付事務混雑が防げますのでご協力をお願い致します。出欠はがき六月五日必着でお願い致します。